

## ① 公共施設の建設と再配置及び用地の有効活用について

## (1) 新図書館の建設について

## (イ) 事務局体制について

新図書館の建設については、他の議員からも数多くの質問が出てきたところである。そのことは町民をはじめ、それぞれの議員の関心が高いからではないかと思う。いよいよ建設着手まで5年を切っているところである。町長は、12月の議会答弁では準備室を設置するとの答弁であったが、3月の施政方針では、政策企画課内に係を設置する事となっている。この表現の違いは何なのか。表現の一貫性がなく理解がしづらい。現実はどうなっているのか人数を含めて答弁を求める。

二つ目には、このような大規模で数十億円を要する収容施設の建設事業を行うには、経験上からして当初から建築の技術者の配置は不可欠である。どのように措置していくのか。

## (ロ) 建設完了年度に向けての工程について

町長は公式見解として、今日まで令和8年度建設完了（言い換えると9年度当初供用開始であると理解する）と言われてきた。

令和4年度係を設置、令和5年度基本設計完了、令和6年度実施設計策定とも答弁をされている。建設期間は少なくとも1年は超えると思われる。

係を設置して2か月が経過しているが、今年度は何を行い、次年度からの年度別の具体的取り組み内容はどのようになっていくのか。再確認を含めて質問する。

## (ハ) 複合施設について

今年度の施政方針で、「先の議会において、図書館と健康センターとの複合施設の建設について表明させていただきました。」と言われた。

健康センターは現在ふれあいセンターの中にあり、これ真に複合施設である。公共施設の再配置の視点から、提案を含めて質問する。

本町の中央部にある長与町公民館は、昭和44年の長崎国体を前に整備し、既に約53年目を迎え、鉄筋コンクリートの耐用年数の50年を超え、改築の時期を迎えている。

又、長与町の歴史を知る上からも、貴重な民俗資料が収集されてきているが、その展示に事欠いている現状である。

新図書館建設を機に、この二施設について新図書館との合築を是非検討をすべきと思っているが、町長及び教育長の見解を求める。

## (2) 長与小学校運動場の拡張について

用地の有効活用の視点から質問する。当学校の運動場は、上・下二段となっている。これは校舎を下段の運動場に建て替えたため、上段は約5,000㎡、下段は約4,000㎡となり、年に一度の楽しい運動会は、上段を利用しトラックは斜めに線が引かれ、参観者は溢れるような状況にあると理解している。

現在の図書館は、新図書館が別地に建設されると当然不要となり、その土地の利活用が可能となる。現長与町公民館が同じように新図書館と合築されることにより、その土地も不要となる。

この二つの施設が移設等されることにより、その底地の利活用として、長与小学校の運動場を拡張利用することにより、現在の不便から解放されることになる。一挙両得である。

よって用地の利活用が実現可能であり、このことから長与町公民館を新図書館との合築が実現するよう提案するものである。答弁を求める。

(3) 役場用駐車場の確保について

先の一般質問で、駐車台数の確保の面から立体化の提案をしたところであるが、町長は「今後役場周辺の土地の状況を踏まえ、利活用を研究していく」との答弁であった。

先の質問も、今回の質問も今の現状では何とかしなければならないのではないのかとの問題提起である。

要するに、可及的速やかに実行する対策と長期的な対策とを区分して、対応することが必要である。

まず、可及的速やかに実行する対策として、前回の答弁のように役場周辺に利活用できる用地が確保できる状況にあるのか。

次に、長期的な対策としては前問の長与小の運動場の上段の確保が実現すると、下段の役場寄りの一部の活用も不可能ではない。町長の判断いかんにある。答弁を求める。

② 小中学校のトイレの洋式化と温水洗浄便座の整備について

トイレの整備については、数年前から整備促進を督促してきたところである。施政方針においても近年は毎年取り上げられ、公衆衛生上からもその整備促進が期待される場所である。

そこで以下について質問する。

- (1) 令和3年度末における各学校の洋式化率はどのようになっているのか。
- (2) その内温水洗浄便座の整備率はいくらか。
- (3) 今年度の各学校別の洋式化数はいくらか。
- (4) 今年度末の洋式化率と温水洗浄便座整備率の見込みはいくらになるのか。
- (5) 洋式化（温水洗浄便座を含む）への改修は、何年度に終了するのか。
- (6) 教育委員会の予定に対し、必要な額の財政措置ができていないのではないのか。